

CO₂を原料とした樹脂材料の研究開発動向

講師：杉本 裕 氏

東京理科大学 工学部 工業化学科 教授

産業活動により排出された二酸化炭素が地球温暖化に関連しているかもしれないことから、二酸化炭素は、その潜在的な有用性にもかかわらず、不要なもの・悪いものという印象をもたれている。

本講演では、地球温暖化問題と化石資源枯渇問題の解決に直接的に寄与することが期待される、二酸化炭素の化学的利用に関する技術、実例を概観し、紹介する。

【経歴】1993年3月 東京大学大学院 工学系研究科 合成化学専攻 博士課程 修了、1993年4月 日本学術振興会 特別研究員（東京大学工学部）、1994年4月 東京理科大学 工学部 工業化学科 助手、2003年4月 同 講師、2007年4月 同 准教授、2013年4月 同 教授（現職）【所属学会】日本化学会 高分子学会 有機合成化学協会 アメリカ化学会

【著書】『二酸化炭素の有効利用技術』サイエンス&テクノロジー(2010)、『二酸化炭素を用いた化学品製造技術』S&T出版(2016)

| | | |
|------|--|--|
| 開催日時 | 2019年8月30日（金）13：30～16：30 | 【会場】ちよだプラットフォームスクウェア ミーティングルーム B1F R005 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-21 |
| 受講料 | 48,000円（税込） ※資料代含 * メルマガ登録者 43,000円（税込） * アカデミック価格 25,000円（税込） | |

*アカデミック価格：学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限ります。

★【メルマガ会員特典】2名以上同時申込で申込者全員メルマガ会員登録をしていただいた場合、2名目は無料、3名目以降は半額です。

★【セミナー対象者】樹脂や繊維を中心とする化成品メーカーの研究開発担当者、事業部や戦略室など社業全体を統括する立場の方々
二酸化炭素の化学変換（化成品合成）に関する基礎的な知識、経験、興味のある方々★【セミナーで得られる知識】二酸化炭素削減のための基本的な取り組み方、二酸化炭素削減のための最新の事例、個別事例から見る二酸化炭素対策の現状と今後の課題、二酸化炭素対策の将来展望を想定する際の留意事項

【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

| | |
|--|---|
| 1. 二酸化炭素についての基礎 1-1 二酸化炭素とは | 3-1 化成品製造の概略 3-2 メタノールの製造 3-3 炭酸エステル類の製造 3-4 ポリマーの製造 3-5 その他の化成品の製造 |
| 2. 二酸化炭素の有効利用 概論 2-1 資源・エネルギー・環境問題と二酸化炭素の関連 2-2 二酸化炭素の変換の考え方・方法と用途 2-3 二酸化炭素の反応メカニズム、プロセスの比較 2-4 古典的な化学品製造プロセス 2-5 二酸化炭素利用の現状と有効性 | 4. 二酸化炭素を直接原料とする脂肪族ポリカーボネート製造（講演者自身の取り組み） 4-1 基礎的な知見とこれまでの開発状況 4-2 研究開発課題と進捗 4-3 工業化・実用化に向けた研究開発動向 |
| 3. 二酸化炭素の有効利用 事例の紹介 | 5. 現状の課題と今後の展望 |

| | | | |
|-----------------------------------|----------|------------------------------------|------------|
| 弊社記入欄 | | セミナー申込書 | |
| セミナー名 | | ：CO ₂ を原料とした樹脂材料の研究開発動向 | |
| 所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、登録希望の場合は○↓ | 会社名（団体名） | TEL： | |
| | 住所 〒 | FAX： | |
| | | E-mail： | |
| 会員登録済み | 新規登録希望 | 部署 | 役職 |
| お支払方法 | | 銀行振込・その他 | 氏名 |
| | | お支払予定 | 2019年 月 日頃 |

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail(re@cmcre.com)でお申し込みください。

■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町 2-7 TEL 03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <http://www.cmcre.com>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789